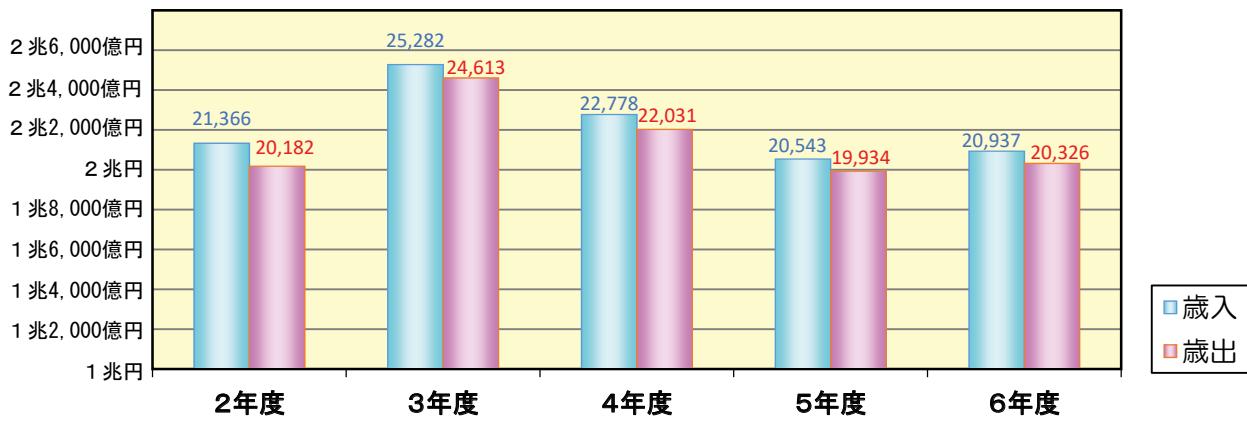


概要

- 令和6年度の普通会計（※）決算は、県税収入は7,842億円で過去最高、県債残高は、3兆7,174億円で前年度から519億円減少し、昨年度に引き続き3年連続の減少となりました。
- 歳入については、企業業績が好調であったことに伴う法人二税の増加や、県内消費拡大に伴う地方消費税の増加により、地方消費税清算後の県税収入は令和4年度以来、2年ぶりの過去最高となり、歳入総額は、前年度から394億円増加し、2兆937億円となりました。
- 歳出については、給与改定や定年の引上げに伴う退職者の増加により、人件費が増加したことに加え、後期高齢者医療給付や障がい者自立支援給付等、社会保障関係費の継続的な増加により、歳出総額は前年度から392億円増加し、2兆326億円となりました。
- 令和6年度の実質収支は、49年連続の黒字となり、黒字額は過去最高の97億円となりました。（令和7年度に返納する新型コロナ対策分の国庫支出金及び今後精算される普通交付税を除いたもの。）

※普通会計とは、総務省が実施する「地方財政状況調査」において、総務省が指定する公営事業会計以外の会計を総合して一つの会計としてまとめたもの。

最近5年間の決算の推移



（単位：百万円、%）

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	金額	前年比								
歳入総額 (A)	2,136,593	129.0	2,528,210	118.3	2,277,786	90.1	2,054,311	90.2	2,093,700	101.9
歳出総額 (B)	2,018,161	124.8	2,461,286	122.0	2,203,057	89.5	1,993,405	90.5	2,032,626	102.0
形式収支 (A-B) (C)	118,432	294.5	66,924	56.5	74,729	111.7	60,906	81.5	61,074	100.3
翌年度繰越財源 (D)	84,336	233.4	45,650	54.1	44,532	97.6	49,069	110.2	48,195	98.2
実質収支 (C-D) (E)	※(34,096) 7,252	177.7	※(21,274) 8,826	121.7	※(30,197) 9,238	104.7	※(11,837) 9,257	100.2	※(12,879) 9,677	104.5

※実質収支の上段()は、翌年度に返納する新型コロナ対策分の国庫支出金及び今後精算される普通交付税を含んだもの。

